

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

北朝鮮のミサイルで地下鉄運転ストップしたけど

# 原発なぜ止めない？

北朝鮮の弾道ミサイル発射で東京の地下鉄などが止まった。一方で国内の原発は運転を継続する。危険の想定はどっちもあり得るはずだが、安倍政権は原発攻撃の脅威には見て見ぬふりを貫く。

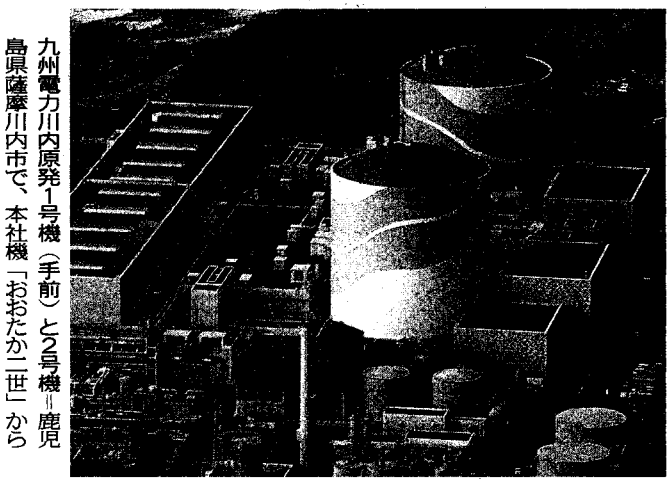
(沢田千秋)

## 政府「仮定の質問」答えず

四月二十九日早朝、北朝鮮、北朝鮮西岸から発射された弾道ミサイルは、約十分後、千六百キロ離れた沖縄県先島諸島上空を通過。つまりは発射後、身を守るための行動は限られる。しかし、ひとたび原発に着弾すれば、日本列島の大半が壊滅的な打撃を受けかねず、小手先のマニュアルでは通用しない。現在、国内で稼働するのは、鹿児島県の九州電力川内原発1、2号機と愛媛県の四国電力伊方原発3号機だ。

山本太郎参院議員(自由)は二十五日七月の安保法制特別委員会で、川内原発の原子炉が弾道ミサイルの直撃を受けた場合の放射性物質の放出量を尋ねた。原子力規制委の田中俊一委員長は「弾道ミサイルが直撃するような事態は、そもそも原子力施設を設置者に対する規制により対処すべき性質のものではない」と前置きした上で、厳しい事故を想定した場合、1、2号機の放射性セシウム137は「約五・六テラ」福島第一原発事故で放出された量の約千分の一以下」と答弁した。

## 想定外もう通用しない



九州電力川内原発1号機(手前)と2号機(鹿児島県薩摩川内市で、本社機「おたか二世」から

どを問う質問主意書を提出した。政府の答弁書は「仮定の質問であり、お答えすることは差し控えたい」とのことだった。

安保関連法も北朝鮮の弾道ミサイル発射も、仮定や想定の下で議論されてきたが、政府は原発への攻撃については仮定や想定を避けている。

北朝鮮情報専門サイト「デイリーNKジャパン」編集長の高英起氏は「北朝鮮のミサイルに日本の原発をピンポイントで狙える能力があるか否かは、米、韓国の情報機関しか分からず、断言できない。だが、日本に潜伏する工作員が原発の場所や軍事基地をリサーチしているのは間違いない」と指摘する。地下鉄停止などの警戒ぶりには「北朝鮮は自分たちの領海と主張する日本海に発射実験をしているだけで、日本を狙っているとは限らない。今の北朝鮮への警戒は大きい。政権の何らかの意図を感じる」と首をひねる。

元原子炉プラント技術者の後藤政志氏は「もし本気で北朝鮮のミサイルの脅威に対処するならば、まず原発を止めるべきだ。稼働中の原発にミサイルが着弾すれば、福島事故以上の早さで、核反応の制御ができなくなり大爆発の危険がある」と断言した上で、政府の原発政策を非難する。「原発再稼働の是非について踏み込んだ議論をしてこなかったために、北朝鮮の脅威を前にしても、政府は批判を恐れ、原発に触れることができない。福島事故以降、『想定外』はもう通用しない。いたずらに身近な脅威をおおる前に、冷静に原発の危険性に言及するべきだ」

# 憲法

憲法施行七十周年を目前に、海上自衛隊の護衛艦「いずも」が米艦艇を守る新任務に就いた。海外での武力行使を可能にする安保関連法に基づいて命じられたが、その安保法制は「違憲」の疑いを拭き切れない。「専守防衛」の国是を崩しに進む米軍

# た

第二次安倍政権が集団的自衛権をめぐる憲法解釈の見直しを進めているニュース

米国では、貧困層の若者が学費や社会保障費を得るために入隊する「経費削減策」が注目されている

ダメージも補修! リートメント、保護系トリートメントで配合しました! カトリートメント効果でダメージ

白髪染めは 洗剤で流す こんなの欲 COLOR AGAIN カラーアゲイン 水色のパッケージ クリアフローラル